

環境に配慮した文房具用品を開発

木質系材料をプラスチックの代替したシャチハタ文房具を開発した。

本業の動向について

浸透印、筆記具等をはじめとした文房具の開発、製造、販売を主要業としている。

昨今の経済環境により、各法人では経費削減を行っており、納品数量の減少や販売価格が下がるなど厳しい状況が続いています。また、環境対応商品についても引き続き要望が高い。上記状況に対応した製品や電子印鑑『パソコン決裁』など、新たな付加価値の研究開発と市場への提供に取り組んでいます。

公設研究機関との連携事業について

連携先公設研究機関の名称

名古屋市工業研究所

所在地

愛知県名古屋市熱田区六番三丁目 4 番 41 号

連携内容

環境に優しい非可食性の木質系材料によるプラスチック代替商品の研究、開発をしました。

連携した動機やきっかけ

木質系材料を研究している、各機関との研究グループにおいてプラスチック材料研究に詳しい機関として参画頂いていた。

連携の効果

素材研究技術により、非可食性の木質系材料によるカーボンニュートラルな射出、押出成形可能なプラスチック代替材料の開発を行い、2011メッセ名古屋で提案出展することができました。

連携して最も効果のあったこと

特殊な機械、条件に合うような知見のアドバイスがありました。

連携して最も困難だったこと

機関の担当変更などがあり、企業側要望に対する対応が難しい場合がありました。

連携するメリット・デメリットについて

メリットとしては幅広い研究アドバイスがある。デメリットとしては、年度毎の契約になるため、対応について煩雑な時があり、企業側とのギャップが生じる場合があります。

連携に際しての注意、アドバイスなど

目的をしっかり持ち、役割分担を明確にすることが大切だと思います。

公設研究機関との連携で行政に望む支援

研究に対する対応について、課題が生じた際には調整機関として入って欲しいと思います。

会社概要

設立:1941年9月24日(創業1925年(大正14)年)
資本金:7億3,758万円
従業員数:656名
U R L : <http://www.shachihata.co.jp/>